

運動会の感想

～1年生～

- おおだまおくり、たのしかった。でいずにー☆めどれーがおもしろかった。あせがいっぱいでした。
- ほんばんは、まけてくやしかったけれど、あきらめないでやった。それで、りれーをがんばってやったよ。
- どのきょうぎもみんなしょうずにできていていました。しろぐみはまけてしまったけどあかぐみもがんばっているのがつたわってきます。らいねんはかてるといいです。
- どようびうんどうかいがありました。かけっこでれんしゅうしたときはいつも3いだったけれど、ほんばんは2いになれてうれしかったです。

～2年生～

- ダンスをまっているとき、「がんばるぞ」っておもいました。ダンスがはじまって、さいしょはきんちょうしたけど、おどってたらきんちょうがなくなりました。
- 玉入れて、れんしゅうのときよりうまくできました。2年生が出たときは、1かい目も2かい目もかてたのがうれしかったです。けっかも、白がかってとってもうれしかったです。またらい年もかちたいとおもいました。
- 「どうやったらかてるかな？そうだ！バトンだ！」と思って練習をしました。かてたときうれしくてとびはねました。本ばんは、なんと4いでした。ともだちがなくてしまったとき、チームのみんなではげましあいました。まけちゃったけど、さい高のうんどう会だと思いました。
- はじめはみんなのうごきについていけなかったけれど、えがおでおどってみたらうまくできました。きんちょうしたけれど、みんなのところが一つになったから、れん習してきた数かずがせいこうしました。

～3年生～

- ダンスは、おおぜいの人に見られて、はずかしかったです。でも終わってみると、もうおどることがないのは、さびしいと思いました。ぼくは、あのダンスが好きでした。おうちの人が、ぼくのがんばりをほめてくれたことが、今でもとてもうれしいと思います。
- 中高学年リレーは、私が一番心にのこった競技です。朝、一回も休まずに練習に行きました。6年間リレーの選手になるのが目ひょうです。もっと練習してはやくなりたいです。ボルトとも競争したいです。
- 今日、ぼくはうんどう会のかけっこではじめて1位になりました。はじめるときはしんぞうがどきどきしていました。走っているときに思いっきり足の速さを速くしました。ゴール手前で、(やった、今年は1位だ)と思い、ゴールしました。

～4年生～

- わたしは運動会のダンスで最初の方はきれいにおどれて、ランニングマンもかっこよくおどることができました。練習の時も1年生がいっしょにおどってくれて、本番でも「ランニングマンがかっこいい」という声が聞こえてきました。5年生は組体操になるので、もっとかっこよくやりたいです
- リレー選手を見て、わたしはもっと足が速くなるように努力しようと思いました。来年リレー選手かほけつには選ばれたいと思います。そのために休日にマラソンをしたり中休みに一緒に友だちと走ったりしようと思います。
- わたしは、運動会を通して学んだことがあります。それは、「協力し合う」ということです。ぼう引きの時、「負けそうだな」と思っていたけれど、みんなで声を合わせたら、ぼうをとることができ、とてもうれしかったです。それもやっぱり、協力し合ったからだと思います。
- 白組の応援団は、負けそうになっても必死に応援していました。スローガンにある、「本気」「負けても勝ってもあきらめない」の目標を達成していて、すごいと思いました。

～5年生～

- ぼくのクラスは、白組の男子の応援団がなかなか決まりませんでした。応援団になろうか迷っていたら、友達が「応援団は楽しいから、一緒にやろうよ。」と誘ってくれました。悩みましたが、やってみようと思い、手を挙げました。クラスみんなから拍手をもらい、やる気が出ました。セリフのテストをして、自分が選ばれたときは、「やったあ。」と言ってとびはねました。毎日朝早くからの練習で大変でしたが、頑張りました。本番では、練習で気を付けてきたことを意識して、気を抜かずに行いました。ぼくたち白組は、少しの点差で負けてしまいました。悔しかったけど、応援団の応援があったから、赤組との点差が縮められたのだと思いました。来年も応援団になって、今度こそは勝ちたいです。
- 私は運動会を行って、協力が大切だということを学びました。学びきっかけになったのは組体操でした。組体操は心が一つになることが大切です。たった一人でもあきらめて手を曲げてしまうと全員がくずれてしまいます。技の中で一番大変だった技は「富士山」でした。富士山は練習でもあまりうまくいっていませんでした。私は協力が大切ではないかと思いました。そして、みんなで声かけをしながらすることにしました。すると成功しました。そして本番当日。組体操の富士山になりました。みんなで声かけをして全員が集中したので成功しました。やっぱり協力は大切だとこの時、私は思いました。

～6年生～

- 少し緊張してしまいましたが、今までの自分の一番の力を発揮して最高のソーランに仕上げることができました。お母さんも感動してくれました。はっぴをもらったときは運動会二日前だったのでやればできることを実感しました。これからもこのソーラン節を生かし自分の欠点を直しながら元気よく学校生活を過ごしていきたいと思います。お母さんお父さんへ 最後の運動会応援ありがとうございました。
- 私たち6年生にとって、最後の運動会でした。その中で、一番思い出深いのは「谷戸っ子ソーラン」です。伝統である谷戸っ子ソーランは、はっぴをもらえるまでには長い道のりでした。まず、一つ一つの技の検定があまりました。それはとても大変でなかなか合格できませんでした。やっとの思いで合格した後は、最初から最後まで声を出して踊る検定です。この検定も予想以上に大変で、4回目くらいでようやく合格でき、はっぴをもらえました。そのときはとてもうれしかったです。今回の運動会は、伝統の谷戸っ子ソーランを通して、はっぴをもらおうと共に、伝統としてみんなの思いが引き継がれているということを改めて実感できた運動会でした。